

平成27年度事務事業評価シート（平成26年度決算）

事業コード	1710 - 1 -	作成者氏名	中島 靖夫	連絡先	0833-71-0700
事務事業名	簡易水道事業	担当課	水道局業務課		
予算費目	簡易水道特別会計	款	項	目	
総合計画 後期 基本計画	基本目標 重点目標 政策	コード ド	Ⅲ 1 7	項目	人の暮らしを支えるまち 快適な暮らしを営むために
					総合計画 後期基本計画 152頁

対象	牛島で簡易水道を利用する市民	意図 (対象をどのように したいのか)	安全・安定した水を供給する。
事務事業 の概要	簡易水道事業に係る設備等の維持管理に関する委託等を行う。		

事務事業の成果指標	単位	24年度 実績	25年度 実績	26年度			27年度 目標	類似団体等 の実績値等
				実績	目標	達成度		

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）						業務 評価	重点 業務
		指標名	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度目標		
		事業費	単位	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算		
1	一般管理事務	事業費	千円	4,552	4,552	4,552	4,554	A	
2	牛島簡易水道業務	有収水量	m ³	2,737	2,782	2,494	2,526	A	◎
		事業費	千円	4,665	4,957	3,976	6,120		
3	長期債元金支払業務	事業費	千円	4,067	4,136	4,206	4,279	A	
4	長期債利息支払業務	事業費	千円	1,333	1,264	1,193	1,122	A	
5		事業費	千円						
6		事業費	千円						
7		事業費	千円						
8		事業費	千円						
9		事業費	千円						
10		事業費	千円						
11		事業費	千円						
12		事業費	千円						
13		事業費	千円						
14		事業費	千円						
15		事業費	千円						
直接事業費の合計（千円）				A	14,617	14,909	13,927	16,075	
職員人件費等		業務量（人工数）		—	—	—	—	【業務評価】	A 現状維持・拡充 B 改善 C 縮小・抜本的見直し D 休廃止・統合・完了
		人件費（千円）		B	—	—	—		
人件費を含む総事業費（千円）				A+B	14,617	14,909	13,927		
財源内訳		国庫支出金							
		県支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源			14,617	14,909	13,927		

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由 安定給水を実現するために、施設維持管理が最重要項目であるため。
--

◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の成果	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。 必要な修繕、施設整備を実施しながら、安定した給水を実施することができた。
事務事業を構成する業務の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 有収水量は、微増・微減の範囲内においてほぼ横ばいで推移している。給水人口は、減少傾向にあるので、今後の有収水量の動向は注視する必要がある。
実施主体の妥当性	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 牛島簡易水道は、非常に厳しい機器使用条件下での施設維持管理を実施している。供用開始当初より塩害による想定外のポンプ等機器の故障が多発したが、職員、業者それぞれの知識を基に改良を重ね、現在の安定した施設を構築してきた。維持管理を実施するにあたっては、安定給水を最重要に考慮し、可能な限りリスクを冒さないよう努めている。また地元自治会の協力により水道料金収納率は常に100%を維持している。従って現在のそれぞれの役割分担は適切である。

◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由
事務事業の意図を達成するための具体的な改善提案（内容、予定時期等）	
予算の増減を伴わず実施可能な改善提案	
予算の増減を伴う改善提案	

◆事務事業の方向性◆

事務事業執行責任者（課長名）	宮崎 英博
事務事業の今後の方向性	簡易水道事業は、離島である牛島地区のみとなっている。牛島簡易水道については、供用開始より維持管理の委託を受け、適正な維持管理に努めてきた。機器類の使用環境が大変厳しい中、職員の試行錯誤、創意工夫により現在の安定した機器の選定、施設の構築、維持管理を実現してきた。引き続き適切な維持管理に努めることとしたい。

最終評価責任者（部長名）	福島 正
部長意見欄	同意見。